

# オーストラリア学会報

Australian Studies Association of Japan

第 49 号

2007 年 2 月 14 日

<http://pweb.sophia.ac.jp/~s-yuga/asaj2/>

1. 2006 年日豪交流年記念シンポジウム「東アジアの経済統合と日豪関係」が 2006 年 9 月 30 日に名古屋商科大学大学院伏見キャンパスで開催され、約 80 名の方々が参加されました。多大なご協力を頂きました豪日交流基金、在日オーストラリア大使館、名古屋商科大学大学院、ほか、関係各位に厚くお礼申し上げます。

2. 2006 年日豪交流年記念「オーストラリア理解講座」が 2006 年 9 月 28 日から 12 月 7 日までの毎週木曜日（11 月 23 日を除く）に JR 大阪駅前「ハービス PLAZA」4 階イベントルームで開催され、のべ 80 名の方々が参加されました。多大なご協力を頂きました豪日交流基金、追手門学院大学オーストラリア研究所、ほか、関係各位に厚くお礼申し上げます。

### 3. オーストラリア学会 2007 年度総会・全国研究大会（大阪）

開催日：平成 19 年 6 月 9 日（土）、10 日（日）

場 所：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立民族学博物館

（大阪府吹田市千里万博公園 10-1 URL: <http://www.minpaku.ac.jp/>）

電話：06-6876-2151（代）／FAX：06-6878-7503

担当：民族社会研究部 松山利夫教授

#### □6 月 9 日（土） 第 1 日目

館長挨拶 松園万亀雄（国立民族学博物館）（予定）

学会長講演「国立民族学博物館の 30 年とオーストラリア学会」

関根政美（慶應義塾大学）オーストラリア学会代表理事

基調講演 「新しいオーストラリアの歴史——多文化社会の歴史記述（仮題）」

David Day（La Trobe 大学 歴史学教授

／東京大学アメリカ太平洋地域研究センター客員教授）（予定）

調査報告 「日本におけるオーストラリア研究の現状（仮題）」

橋本雄太郎（杏林大学）

シンポジウム I「オーストラリアの労働市場改革と経済パフォーマンス（仮題）」

司会 松繁寿和（大阪大学）

レセプション／サー・ニール・カリー奨学金授賞式

#### □6 月 10 日（日） 第 2 日目

一般個別研究報告（午前）

総 会（午後）

シンポジウム II「日豪通商協定の歴史的意義（仮題）」

司会 福嶋 輝彦（桜美林大学）

#### 4. 第6期第5回理事会報告(2006年12月10日、慶應義塾大学日吉キャンパス午後2時から開催)

- (1) 2006年日豪交流年記念事業報告(前頁1.および2.参照)
- (2) 学会誌『オーストラリア研究』第19号 日豪交流記念・第17回全国研究大会特集号(2006年12月発行)、第20号(2007年3月発行) 編集進捗状況
- (3) 学会報発行状況(第46号、第47号、第48号)、および発行予定案(第49号、第50号、第51号)
- (4) 全国研究大会準備状況

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立民族学博物館の30周年記念事業を兼ねて実施する。(前頁3.参照)

- (5) 地域研究会の報告。(下記5.参照)

- (6) 理事会・運営委員会・理事の業務分担

今後の全国大会運営に関して、シンポジウムを研究企画担当理事が担当することにする。代表理事による企画のみに頼らず、さらに魅力ある企画を提供すること、学会全体の向上に寄与すること、などが期待される。さらに、プログラム全体を管理する運営委員会、ならびに会場運営をとりまとめる当番校に担当を分けて大会を進行することができるので、これまでより円滑な大会運営が可能となる。

- (7) 会計状況の中間報告。

- (8) 豪日交流基金関連事項の報告。

- (9) 新規入会9名を承認する。

なお、研究者の裾野拡大のため地域研究会を活用し、修士課程の大学院生や社会人であっても、地域研究会において発表した場合、審査を経て入会を認められるようにする。

出席者＝関根政美(代表理事)、安藤充、加藤めぐみ、鎌田真弓、小林信一、竹田いさみ、橋本雄太郎、藤川隆男、松繁寿和、田澤佳昭(以上理事)

#### 5. 第3回地域研究会(関西)活動報告

報告：南出眞助

第3回研究会が2006年11月18日(土)、大阪府茨木市の追手門学院大学において行われました。発表はつぎのとおり。①大野あきこ(オーストラリア国立大学大学院・博士課程)「キリスト教信仰と伝統文化の衝突—ペンテコステ派アボリジニ集団の信仰実践の再考」(司会：鎌田真弓)、②酒井一臣(日本学術振興会・特別研究員)「オーストラリア外交事始め—日豪関係の視点から」(司会：藤川隆男)。参加者15名。前者は、キリスト教の異端的宗派を受容したアボリジニ集団を現地取材した貴重なフィールドワークの報告。末期ガン患者に対する祈祷の現場を収録した映像も紹介されました。後者は、第一次世界大戦後のニューギニア島などの、旧ドイツ領再配分をめぐる豪・日・英の確執を、丹念な史料分析から再構築した発表でした。いずれもたくさんの質問が出て、分野を超えた意見交換・情報交換が続きました。

## 全国大会研究発表の追加募集

個別報告の発表を希望される会員は、氏名・所属・題目を明記の上、3月10日までに、学会事務局あて書面（メール可）にてお申し込みください（200字程度の要旨を添付してください）。

### 【第4回 地域研究会（関西）のお知らせ】

- 日 時： 2007年3月24日(土) 14:00～17:10 \*非会員の方も参加できます。
- 場 所： 茨木市西安威 2-1-15 追手門学院大学 オーストラリア研究所  
Tel: 072-641-9667 / FAX: 072-643-9476 E-mail: cas@jimu.otemon.ac.jp  
会場はホームページでご確認ください。 <http://www.otemon.ac.jp/cas/>
- 発 表： 「アボリジニ学習における文化表象をめぐる考察」  
栗田梨津子（広島大学大学院・博士後期課程）  
「オーストラリアのポスト・コロニアル的状况—平等のレイシズムにみる不平等」  
前川真裕子（神戸大学大学院・博士前期課程）
- 交 通： JR 茨木駅西口南へ7分 マイカル茨木横、阪急茨木市駅西口前から追手門学院スクールバス（無料）13:10 発。ほかに阪急バスもあります。

※ 地域研究会に関しては、発表者が大学院生の場合に限り、居住地と研究会場間の交通費に関し、主要都市間の交通費実費の半額を、1万円を極度額として、補助します。

#### 要 旨：

#### 栗田梨津子（広島大学大学院・博士後期課程）「アボリジニ学習における文化表象をめぐる考察」

アボリジニ学習では、アボリジニ文化の学習を通じて、アボリジニ生徒の自尊心の向上、さらに非アボリジニ生徒のアボリジニ文化に対する正しい理解の促進が目的とされた。しかし、西洋的観点から描かれた、偏ったアボリジニ像が、彼らに対する偏見をかえって増強させるおそれもある。今回の報告では、1980年代以降アボリジニ学習で使用されたテキスト等の分析を通して、アボリジニ文化表象を検証し、その問題点を明らかにしたい。

#### 前川真裕子（神戸大学大学院・博士前期課程）

#### 「オーストラリアのポスト・コロニアル的状况—平等のレイシズムにみる不平等」

近年のオーストラリアでは、「デモクラシー」「ハーモニー」という概念のもとにさまざまな人々を「公平」に扱うことが求められる。それは一見すると「われわれ」と「彼ら」の絶対的距離が超克され、二者の対等な関係性を表しているようにも思える。ところが、「われわれ」との絶対的乖離が避けられるようになった「彼ら」は、「われわれ国民主権」によって「われわれの一部」という主観的な観点から強引に捉えられるがゆえに、そもそもの外在的特殊性を剥奪され、「われわれ国民」との同一化を迫られる。本発表では、その例をマイノリティー作家による小説事情などから読み解く。

## 6. 『オーストラリア研究』第21号投稿募集および研究文献目録掲載のお知らせ

『オーストラリア研究』第21号(2008年3月発行予定)に掲載する論文を募集します。投稿はいつでも受け付けておりますが、次号に掲載する論文の締め切りは**2007年8月末日**。詳細は最近号掲載の「投稿要領」をご覧ください。

また第12号以降、会員の研究文献目録を継続して掲載しております。引き続き会員の協力をお願いします。発表された著書、論文、報告書、翻訳などのなかから、オーストラリア学会の趣旨に関係する目録未掲載の研究文献を選び、お知らせください。締め切りは**2007年10月30日(期日厳守)**。編集作業の都合上、電子メール(またはテキストファイルを含んだFD)をご利用ください。記入例は第15号(2003.3)を参照し、掲載書式に必ず準じる形でお送りください。

投稿・連絡先：オーストラリア研究編集委員会

〒610-0394 京田辺市多々羅都谷 1-3 同志社大学言語文化教育研究センター 有満保江気付

TEL: 0774-65-7070 Fax: 0774-65-7069 E-mail: yarimitu@mail.doshisha.ac.jp

**2005年5月より宛先が変わりましたので、ご注意ください**

なお、受信した旨をお知らせするメールが必ず返信されますので、ご確認ください。

## 7. アンケート返信のお願い

過日、サー・ニール・カリー奨学金募集に関するAJFからの案内封筒に同封いたしました、学会事務局からのアンケートにまだご回答いただいていない会員は、必要事項をご記入の上、返信用封筒にて早急に学会事務局まで返信いただけますようお願い申し上げます。

### 学会費未納分の納入について

本年度までの会費を未納の会員の方々には、未納分の振込用紙を同封いたしましたので、至急お振込みください。年会費は5,000円(賛助会員は10,000円)です。

お問い合わせ：会計担当理事(安藤 充 andom@dpc.aichi-gakuin.ac.jp)

### 豪日交流基金からのお知らせ

#### ◇ 豪日交流基金サー・ニール・カリー助成プログラム 募集開始

2007年度「大学院生への奨学金」「オーストラリア講座・講義の新設/充実への助成金」「オーストラリア関連書籍への助成金」の3つの助成プログラムの募集を行っています。

締切りは**4月13日(金)**。詳細は<http://www.ajf.australia.or.jp/awards/sirneil/>

〒192-8508 東京都八王子市宮下町 476 杏林大学総合政策学部 橋本雄太郎研究室気付  
オーストラリア学会事務局 TEL: 042-691-0011(代)/FAX: 042-691-5899  
E-mail: hashimotobunch@mri.biglobe.ne.jp

#### 2005年4月より事務局が移転しましたので、ご注意ください

会費振込先：00190-3-157063 加入口座名：オーストラリア学会  
※本会報は学会記録以外に、会員のご意見やご要望を掲載します。意見、著書、新刊、訳書、投稿など、事務局または会報担当理事までお送りください。[紙面の制約上、速やかに掲載できない場合がありますことをご了承ください。](宛先：鈴木 HAF00025@nifty.ne.jp または田澤 ytazawa@dohto.ac.jp) なお書評欄に掲載を希望される場合は、学会事務局宛に献本願います。  
[編集担当：田澤佳昭(道都大学)]